

副知事との懇談、県行政との定期懇談会を開催

岡山県生協連では、生協と行政の関係づくり、相互理解の促進に向けて、年1回、副知事との懇談、生協を管轄する県行政部門との懇談会を開催しています。上坊副知事、県民生活部くらし安全安心課の職員とも昨年も対応してきたこともあり、より広い分野での情報交換ができました。

1. 岡山県副知事との懇談

- 日時：10月21日（月）9：30～10：15
- 場所：岡山県庁3階 第2会議室
- 対応：上坊勝則副知事、県民生活部くらし安全安心課 宮原課長、中本総括参事、上杉主事
- 参加：平田会長、田中副会長、岩松副会長、大同常務、和泉理事、岡本監事



上坊副知事（中央）と

生協からは県との取り組みへの謝意と来年の「国際協同組合同年」の意義、生協が協力してきた日本被団協のノーベル平和賞受賞への祝意を伝えるとともに、直近の生協の社会的取り組みの特徴的な動きを報告しました。上坊副知事からは、能登半島地震での全国生協の迅速な支援活動への評価をいただきました。その後、今夏の“米騒動”や物価高、5類移行後の医療現場でのコロナ対応などで、生協の姿勢や要望、県の取り組みなど幅広く意見交換をしました。多くの部門で生協と県行政が連携していることも改めて確認し、今後ともさまざまな連携を追求するとともに、情報交換をしっかりとしていくこととしました。

2. くらし安全安心課との定期懇談会

- 日時：10月21日（月）10：45～12：00
- 場所：県庁分庁舎2階会議室
- 対応：県民生活部くらし安全安心課 宮原課長、中本総括参事、上杉主事
- 参加：副知事懇談参加者、志賀消費生活懇談会委員（おかやまコープ）



くらし安全安心課からは「第5次岡山県消費生活基本計画」策定へ向けた県民意識調査のポイントについて説明があり、エシカル消費、カスハラ（カスタマーハラスメント）、デコ活（脱炭素につながる取り組み）といった新たな意識や行動に注目したいということでの意見交換から始まり、学校での消費者教育、食品ロスへの対応など消費生活をめぐるさまざまな課題で意見交換をしました。また、生協を監督する部門でもあることから、生協の取り組みや県行政の他部門との連携の実態なども知ってもらうとともに、今後も県生協連との情報共有を図り、会員生協が健全に運営ができるようそれぞれの持ち場で関わっていくことを確認しました。今後もこのような場を定期的に持ち、相互理解を進めていくこととしました。